SUN3

日の出町立本宿小学校
第３学年　学年便り　夏休み号
令和７年７月１８日
３年担任

明日から夏休みです！！

長いようであっという間だった１学期も本日で終わりを迎え、明日から夏休みが始まります。１学期は、クラス替えもあり、環境も大きく変わった中、運動会などの大きな行事や日々の学習を乗り越え、子供たちは心身共に大きく成長したように思います。日常生活では学年・学級のルールを守って生活し、今まで話したことのなかった友達と話したり、遊んだりできるようになってきました。いろいろな変化がありましたが、子供たち一人一人の成長をたくさん見ることができた１学期となりました。

さて、明日から夏休みが始まります。一日一日を大切にし、夏休み明け、さらに成長して学校に戻ってくることができるよう、一人一人が自分なりの目標をもって過ごせるとよいと思います。

宿題も、しっかりと計画して進めていけるよう、ご家庭でも声掛けをよろしくお願いします。全てをやり切る、終わらせることが大切です。ドリルや丸付け、読書などが進んでいるかの確認など、ご家庭で応援していただくことがたくさんあるかと思いますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

９月１日に、さらに成長した子供たちと元気に再会できることを楽しみにしております。１学期のご協力、誠にありがとうございました。

お知らせとお願い

〇学習用具の点検・清掃・補充をお願いします。
〇夏期学習教室に参加する児童は、交通安全や熱中症に気を付け登校させるようにお願いします。
朝ご飯を必ず食べる、水分補給用の水筒を持ってくる、帽子の着用などご協力をお願いします。
〇夏休みの間、国語と算数の教科書と地図帳以外は学校に置いておきます。国語と算数の教科書と地図帳は宿題の際に使用する可能性があるため持ち帰ります。国語と算数の教科書と地図帳は、２学期にも学校で使用します。始業式に、お子さんに持たせてください。自主学習等で他の教科書が必要な場合はご連絡ください。
〇持ち帰った「お道具箱」「習字道具」「絵の具バッグ」「音楽バッグ」「図工バッグ」をはじめ、持ち物の点検・清掃・補充をお願いします。
〇リコーダーの掃除をお願いします。きれいに洗って、乾かしてください。掃除用のガーゼは、洗っていただくか新しいものと取り換えてください。
〇持ち物には記名をお願いします。名前が薄くなっているものは、濃く書き直してください。
〇８月１２日（火）～１５日（金）までは、学校閉庁期間となります。
この期間に起きた事故等は、教育委員会を通して校長、副校長及び担任に情報が伝わることになります。学校にお電話をいただいても対応ができません。教育委員会へご連絡ください。

日の出町教育委員会　５９７－０５１１
（町役場の番号ですが、内線を取り次いでもらえます。）
上記期間以外は本宿小学校　５９７－０４００

〇始業式　９月１日（月）　Ａ時程　８：２０までに登校　４時間授業給食なし
＜持ち物＞
・連絡帳・連絡袋・防災頭巾・上履き・夏休みの宿題・筆箱・雑巾１枚（**記名**）
・国語、算数教科書・体育着

９月２日（火）　５時間授業　給食あり
９月３日（水）　Ａ時程　発育測定（体育着が必要です）
※２学期から火・水・金曜日が６時間授業になります。
９月４日（木）　Ａ時程

夏休みの宿題について（７月の保護者会資料と少し変更しています。）

①「夏のサマー１６」

〇国語・算数の復習
〇理科・社会かくにんシート
〇漢字・計算ブック

計画的に取り組むよう声掛けをお願いいたします。
終わったら保護者の方が丸付けをお願いします。
間違えたところを直させてから学習を終わらせてください。

② 毎日日記（夏のサマー１６に付いています。）

夏休みの初日、または、前日に１日の予定と夏休みの約束をお子さんと話し合って記入させてください。
ぜひ、毎日継続して日記を書けるように見守りをお願いします。

③ 作文帳（２日以上）

１学期に使っていた作文帳に、夏休みの思い出を２日以上書きます。特に心が動いたことを文章で表します。起きたこと、見たことや話したことや聞いたこと（五感を使って）を順番に思い出して丁寧に表します。

④読書（５冊以上）

読んだ本の記録を**「夏休みの読書の記録」**に書かせてください。

⑤国語・算数復習プリント各４回分

（個に応じたプリントのため、出題内容がそれぞれ違います。）

⑥リコーダー練習カード

吹けるようになりましたら、保護者の方のサインをお願いします。

⑦自主学習

例　・国語辞典を使っていろいろな言葉の意味を調べる。
・１学期の漢字総復習（漢字スキルなどを使って）
・１学期の算数総復習（計算ドリルの問題をもう一度解く）
・サマー１６に付いている「読書感想文の書き方」を使い読書感想文を書く
・地図帳などを使って地図記号を調べてまとめる　　など

※自主的に学習する習慣を身に付けるために、お子さんの実態に合わせて挑戦してみることをお勧めします。